※令和４年度以降入学生用

学校番号	3022

令和８年度　観光科

教科	観光	科目	住商ＳＤＧｓ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・家庭総合の内容をさらに発展させて、身近な暮らしと SDGs を関連付けて実習を行いながら生活に役立つ知識や技能を身につけてもらいます。
・畑実習では、授業に出席するのが大前提です。安全に十分気をつけて、命を育てているという自覚をもって作業することを心掛けましょう。
・被服分野では、安全に十分気をつけて、時間内に作品を完成できるよう、手順を守って丁寧に作成することを心掛けましょう。
・調理実習では、班で協力して役割分担しながら時間内に、安全でおいしい調理をすることを心掛けましょう。

2　学習の到達目標

（１）SDGｓに関する基礎的な知識や技能を身に付ける。
（２）持続可能な社会をめざした安全で安心な生活や文化について考察し、ライフスタイルを工夫し創造する能力を身に付ける。
（３）生活と環境との関わりや持続可能な社会をめざした安全で安心な生活や文化について関心を持ち、主体的に行動できるよう、意欲をもって学習に取り組む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生活と環境との関わりや持続可能な消費について理解している。持続可能な社会へ参画することの意義について理解している。人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者との関わりと福祉、消費生活、衣食住などに関する基礎的・基本的な知識・技能を総合的に身に付けている。	持続可能な社会をめざした安全で安心な生活や文化について考察し、ライフスタイルを工夫している。人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者との関わりと福祉、消費生活、衣食住などについて生活の充実向上を図るための課題を見いだし、その解決をめざして思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付けている。	生活と環境との関わりや持続可能な社会をめざした安全で安心な生活や文化について関心を持ち、主体的に行動できるよう、意欲をもって学習に取り組もうとしている。人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者との関わりと福祉、消費生活、衣食住などについて関心をもち、その充実向上をめざして主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	環境分野	・畑実習の意義 ・草抜き ・畝作り ・植え付け ・肥料 ・水やり ・成長の記録 ・収穫	a:生活と環境との関わりや持続可能な消費について理解している。持続可能な社会へ参画することの意義について理解している。 b:持続可能な社会をめざした安全で安心な生活と消費及び生活文化について考察し、ライフスタイルを工夫している。 c: 生活と環境との関わりや持続可能な社会をめざした安全で安心な生活と消費及び生活文化について関心を持ち、主体的に行動できるよう、意欲をもって学習に取り組もうとしている。	実習課題 小テスト	実習課題 自己評価 相互評価	授業観察 レポート 実習記録

※令和４年度以降入学生用

二学期	食物分野	・収穫した野菜の調理 ・和食文化 ・世界の食文化 アジア料理 ヨーロッパ料理 ・多様な食文化 ヴィーガン	a：健康的な食生活を営み、安全でおいしい調理を行う方法を理解している。基礎的・基本的な調理の技術や、健康的な食生活を営むための技術を身につけている。５大栄養素や健康食品、食品の表示などを活用した健康的な食生活について理解している。５大栄養素や健康食品などを活用した健康的な食生活を営むための技術を身につけている。 b：自分自身の生活習慣や多様な食文化などについて課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。５大栄養素のはたらきや健康食品の効果、食品の表示などを自分の生活の中でどのように活用するか考え、表現している。 c：自分自身の生活習慣や多様な食文化などについて見つめなおし、関心を持って意欲的に学習に取り組もうとしている。５大栄養素のはたらきや健康食品の効果、食品の表示などについて関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	実習課題 小テスト	実習課題 自己評価 相互評価	授業観察 レポート 実習記録

※令和４年度以降入学生用

三学期	被服分野	・布のリメイク ・はぎれの活用 ・日本の文化 和服 染物	a：着装、被服材料、被服の構成、被服製作、被服管理などについて理解し、安全と環境に配慮した衣生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。被服管理や被服製作についての技術が身に付いている。 b：着装、被服の選択、被服管理などに関わる様々な課題について考え、まとめることができる。 c：被服の機能，文化，着装，被服管理について関心をもち，実生活で活用しようとする意欲を持って学習に取り組んでいる。	製作課題 小テスト	制作課題 発表 自己評価 相互評価	授業観察 レポート 実習記録

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度